

テーマ：協同組合はすべての人により良い未来を築きます
「2024 国際協同組合デー愛知」
7月17日(水)コープあいち 生協生活文化会館で開催

国際協同組合デーは、協同組合の認知を高め、協同組合運動の理念を広めることを目的に、ICA(国際協同組合同盟)の呼びかけのもと、世界の協同組合が毎年取り組んでいるもので、毎年7月第1土曜日と定められています。

2024年7月6日(土)の国際協同組合デーを記念して「2024 国際協同組合デー愛知」を開催します。県内の様々な分野の協同組合から役職員が集まり、地域のつながりづくり・居場所づくり、身近な地域でどんな連携ができるか、事例報告やワークショップを通じて、考え、話し合います。

【参加する協同組合】

JAあいち中央会、コープあいち、生活クラブ生活協同組合愛知、全国大学生協連東海ブロック、南医療生協、北医療生協、ワーカーズコープ東海事業本部、愛知ワーカーズ・コレクティブ連合会、東海労働金庫、こくみん共済COOP愛知推進本部

2024 国際協同組合デー愛知(国際協同組合デー記念行事)

日時：2024年7月17日(水) 13時00分～17時00分

場所：生活協同組合コープあいち 生協生活文化会館 4階ホール
(名古屋市千種区稲舟通1-39)

I：JCA(日本協同組合連携機構)報告 13:00～

II：愛知の協同組合の連携事例 報告 14:00～

南医療生協「おたがいさまの家と9番目の拠点『いこまい』について」

生活クラブ生協愛知「ひだまり館(岡崎市)の取り組みについて」

JAあいちグループ「組合員のつながりづくりについて」

III：協同の未来:ワークショップ 14:30～

テーマ:「拠点となる場所、その拠点に集う人と情報、つながりづくり」

分野の異なる様々な「協同組合」が力をあわせて、身近な地域でどんな連携ができるか話し合います。

ぜひ、ご取材、ご紹介ください。

■お問い合わせ先

(TEL)052-703-6055

組合員活動支援部 見山

生活協同組合コープあいち

理事長：森 政広(もり まさひろ) 組合員数56万人 総事業高651億円(2023年度)

〒465-8611 名古屋市名東区猪高町大字上社字井堀 25-1

TEL 052-703-6022

FAX 052-703-3387

<https://coopaichi.tcoop.or.jp>

次頁以降に補足資料①②を添付しています。あわせてご覧ください。

協同組合は全ての人により良い未来を築きます

2024国際協同組合デー愛知

2024年7月17日(水)
13:00~17:00

毎年7月第一土曜日は
国際協同組合デーです。

生協生活文化会館・四階(名古屋市千種区 地下鉄東山線本山駅4番出口)

JCA(日本協同組合連携機構) 報告

I 全国の特徴的な連携の事例

II ICA「協同組合のアイデンティティ」への提言
2025国際協同組合年へ



愛知の協同組合の連携事例 報告

地域のつながり・居場所づくり
生産と消費~人と情報が集まる場

農協では
地域生協では
医療生協では
ワーカーズでは



協同の未来・ワークショップ

分野の異なる協同組合が力をあわせて
身近な地域でどんな連携ができるか・
人と情報がつながる拠点をどう広げるか・
未来にむけて何が実現できるか・
を話し合い、描きます。

主催：協同組合ネットあいち

(幹事団体)：JA愛知グループ・生協グループ(生活協同組合コープあいち、生活クラブ生協愛知、北医療生協、南医療生協、大学生協連東海ブロック)・ワーカーズグループ(ワーカーズコープ東海事業本部、ワーカーズ・コレクティブ愛知)・こくみん共済COOP 愛知推進本部・東海労働金庫・NPO地域と協同の研究センター

第 102 回 ICA 国際協同組合デー・第 30 回 国連国際協同組合デー
国際協同組合同盟（ICA）メッセージ

2024 年 7 月 6 日（土）

「協同組合はすべての人によりよい未来を築きます」
(Cooperatives Build a Better Future For All)

国際協同組合デーは、私たち協同組合が、すべての人によりよい未来を築くことを力強く訴える絶好の機会です。協同組合は、特に新しい世代と手を携えて、人間らしい仕事を創り出し、ジェンダー平等を推進し、革新を促進します。協同組合は、元から備わった社会的責任をもって、人間と環境を中心に置き、生産者と消費者にとって最適な条件を生み出します。協同組合は、公益の追求において、コミュニティの自然・人・お金という資源について教育し、配慮し、管理します。

こうした、協同組合が社会経済関係を組織する方法は、200 年にわたる歴史と実績があり、今日、社会・経済・環境にわたって持続可能な未来を築くための最も直接的な道です。

こうした理由から、協同は平和の別名でもあります。

受け入れがたい武力紛争に苛まれ、不平等が拡大し、気候変動による脅威にさらされている世界において、私たちは組織内だけでなく、組織外においても協同のパラダイムを深めることで、それぞれの国や（国を越えた）地域、そして世界規模で協同組合の影響力を高めていかなければなりません。

この意味で、国際協同組合同盟（ICA）は、国際協力を行う諸機関の枠組みの中で行われている主要な議論の最前線に立っています。

多くの国際協力組織や国連との関係強化の成果として、2025 年を、2012 年の成功に続き、2 度目の国際協同組合同年とすることが宣言されました。私たちは、今年 11 月 25 日から 30 日までインドのニューデリーで開催される ICA 世界協同組合会議と総会において、この国際協同組合同年をスタートする予定です。

協同組合の価値を信じ、その仕事にたゆまず取り組むすべての仲間の努力のおかげで、協同組合は世界的により広く知られる存在になることができます。

地域に根ざした協同組合は、ICA とその地域組織・セクター組織と連携しながら、グローバルな課題に対し、それぞれの地域で取り組んでいます。

間違いなく、私たちは多くの責任とコミットメントを求められる歴史的な時代に生きています。そして私たちは、このような挑戦に立ち向かうための手段を持っています。

私たちは、世界で 10 億人以上の組合員を持つ一つの巨大な家族の一員であることを感じながら、世界中のあらゆる場所でこの日を祝っています。すべての人によりよい未来を築いているという喜びと希望と確信をもって、この日を生きましょう。

素晴らしい国際協同組合デーを！